保護者等向け　放課後等デイサービス評価表

公表日:2026.11.1

事業所名:放課後等デイサービス　バンブーワァオ高円寺校　　対象人数(保護者)45人　回答者数 45人　回収 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	6		3		環境整備に努め、適切な場所の確保を継続していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	40	1		4		法令で必要とされている人数を配置しております。個々のニーズやレッスンのねらいに応じた適切なスタッフ数の配置をしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	39	3		3		障害の特性に応じた提示や環境設備への配慮を引き続き実施していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	41	2		2		清潔で安心して過ごせる環境を維持するとともに、こども達の活動や特性に合わせた環境づくりに努めてまいります。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	44	1				こども一人ひとりの特性や発達段階を理解し、職員間で情報共有を行いながら、個々に応じた支援の充実に努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	43		1	1		支援プログラムと日々の支援内容を適宜見直し、実際の支援と一致した内容となるよう努めてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	43	1		1		地域の児童館や放課後児童クラブ等との交流については、お子さまの安全面や個々の特性、居住地域等も考慮しながら、無理のない範囲で地域との交流機会を検討してまいります。今後、実施する場合は事前に内容等をお知らせいたします。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42	2		1		5領域に沿って、お子さま一人ひとりの状況やニーズを踏まえ、本人支援・家族支援・移行支援を適切に計画へ反映し、具体的な支援内容を設定してまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	43	1		1		アセスメントに基づき、複数のスタッフでニーズや課題について検討し、支援内容を検討しております。
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	41	1		3		家族支援については、日々の送迎時の情報共有や個別相談に加え、保護者の皆さまが参加しやすい研修・情報提供の機会についても検討し、必要な情報を分かりやすくお伝えしてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	9	10	20	離れた地域に居住しているため、わかりません。	夏祭り、運動会等地域のイベントへ参加しております。 施設のイベントでは、学校の先生、近隣住民の方などご招待しております。ぜひイベントへご参加ください。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	44	1				定期的な面談や子育てに関するご相談について、必要な時に気軽にご相談いただけるよう、面談・相談の機会を改めてご案内いたします。ご家庭でのお困りごとやお子さまの変化についても丁寧にお伺いし、支援に反映してまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43	1		1		「放課後等デイサービス計画」をもとに、支援内容や目標について分かりやすく説明し、保護者の皆さまと共有しながら支援を進めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	40		1	4		保護者同士の交流やきょうだいへの支援については、参加希望やご家庭の負担にも配慮しながら、交流会・情報交換の機会等について検討してまいります。実施する際には、参加しやすい方法や内容を工夫してご案内いたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	44	1				相談・申入れについては、職員への直接相談のほか、管理者等へ相談できる体制を整えています。今後も相談窓口や相談方法を分かりやすくお知らせし、安心してご相談いただける環境づくりに努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	41	3	1			定期的な面談や相談の機会を設け、保護者の皆さまが気軽に相談できる体制を整えます。子育てに関するご相談にも丁寧に対応し、支援に反映してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	44	1				活動内容や行事予定、連絡事項等について、通信・ホームページ・SNS等を活用し、必要な情報を分かりやすく発信してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	9	4	18		保護者の皆様から相談しやすい環境作りや、保護者からのご意見に対しては、真摯に受け止め、迅速な対応を心がけています。 また、地域イベントへの参加時はきょうだいへの参加もご案内いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	40	2		3		予約システム上の掲示板、連絡帳への記載、事業所内の掲示等を利用して情報伝達に努めております。苦情窓口は重要事項説明書に記載しております。 ご確認ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	43	2				定期的にバンブー通信を発行し、活動の概要等をHUGシステムで発信しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	42	1		2		定期的にバンブー通信を発行し、活動の概要等を発信しております。自己評価の結果につきましてはホームページへ公開しております。 日々の活動の様子はSNSで公開しておりますのでご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42	1		2	多分出来ていると思いますが聞いた事がないです。	個人情報の取扱いについてご契約時に確認し、SNS等に載せる場合は、事前に書面にて保護者の方のご了承を頂いております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	38	2		5	案内があったかもしれないが覚えていません	ご契約時に説明しております。 また、玄関に各種マニュアルを設置しております。以後、設置場所について周知していきます。 地震・災害・不審者対策等を想定した避難訓練を、年に4回実施しております。 必要に応じて対処できるよう努力していきます。 また、防災館などへ出向き、災害について学んでいます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34	2		9		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	41			4		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	2		9	事故が起きたことがないのでわかりません。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	45					お子さま一人ひとりの気持ちや状態を丁寧に把握し、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。ご家庭とも情報共有を行いながら、信頼関係を大切にした支援を継続してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	43			2	日によって上下する	今後も個々の発達年齢に応じたプログラムについて、創意工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	43	1	1		もう一日個別の日にちが取れると助かる 内容には満足しているが 長期休暇の送り迎えが大変である。	日々スタッフで話し合いながら、お子さまの成長を見守っています。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。